

医療機関接遇研修会

笑顔と心遣いのコミュニケーションが基本



講師の水原道子先生がポイントを楽しく解説した(写真左)

参加者で意見交換しながら練習問題に取り組んだ(写真右)

淡路支部ニュース

2017. 5. 25
No. 334

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-1313 洲本市五色町
鮎原西9-2 たかたクリニック内
☎0799-3012272

淡路支部では5月13日
(土)、洲本市総合福祉会
館で職員接遇研修会を開催
した。考える練習問題にも参加者
同士で議論しながら取り組
んだ。

医師・看護師・スタッフな
ど13名が参加した。今年は

水原道子先生(大手前短期
大学教授)を講師に、「患
者接遇の基本」笑顔と心遣
いの「コミュニケーション」
をテーマとして学んだ。
(次号に感想文を掲載予定)

水原先生はまず、日常の
対応について、笑顔であい
さつや電話対応を行うこと、
患者さんに医療機関のファ
ンになってもらえるような
対応を心がけるなどのポイ
ントを解説した。
日本語での適切な表現を
【参加者アンケートから】
・初めての為、わからない
こともたくさんだったので
すが、すぐためになるこ
とばかりで、とてもいい経
験でした。丁寧すぎず、寄
り添う形でいいんだと思
いました。(事務・新人)
・初心に帰った気持ちにな
り、すごく勉強になりました。
(事務・経験20年)
・自分でも、クリニックで
も改善できるなと思うこと
がありました。(受付・経
験2年)

バスツアー感想文

春の姫路を満喫

淡路支部は4月2日、バスツアー「春の姫路城散策と綿菓子牛鍋、かまぼこ造り体験」を開催、37人が参加した。参加者の感想を紹介する。

朝、風は冷たかったです。が、姫路城に着いた頃には日差しが暑くなってきました。

記念撮影の後、花より団子で、屋台でおつまみ・ビールを買って小宴会が始まりました。

その後、灘菊酒造「西蔵」

で綿菓子牛鍋をいただきました。肉・野菜の上に綿菓子を載せてその上から醤油をかけての鍋、懐石料理を

おいしく堪能しました。綿菓子の甘みと醤油がからんでおいしい味になっていました。地酒も購入しました。

次にヤマサ蒲鉾・ヤマサ夢鮮館にて工場の見学とかまぼこ・ちくわ造りの体験です。講師の方は簡単に作っていました。なかなか難しかったです。

作業の説明を聞いてまずかまぼこを造りました。魚のすり身をまな板の上で練り、かまぼこ板にすり身を載せるのですが、思うように乗せることができず、い

びつな形にできあがりしました。ピンク色と緑色のすり身でかわいく絵を描きました。

その後のちくわ造りも同じように練るのですが、2回目なので最初よりはうまくできたかなと思います。竹にすり身を巻きつけていくのですが、上手に巻

きついていかず、途中ですり身が切れてしまい、係の方の手助けで何とか巻くことができました。

かまぼこを蒸してちくわを焼いている間に、売店でおいしそうなかまぼこ天ぷらを家族のみやげに買っ



青空の下、姫路城での散策を楽しんだ

て帰路につきました。

姫路城の桜はつぼみで満開の桜を見ることはできませんでしたが、城内の広さで見物客の多さに驚きました。今度は満開の時にいきたいと思っています。無理のない日程で、お腹いっぱいのお昼ごはんを食べて、楽しいかまぼこ・ちくわ造り体験ができ、十分満足しました。

【淡路市・栗田医院

看護師 細川 千鶴】

患者負担増計画をストップ！ 県内3万筆達成にご協力を

政府が次々と計画する患者負担増を阻止しようと、協会が取り組む請願署名。現在県下で8500筆を超え、淡路支部は目標1200筆に対して637筆です。目標達成にぜひご協力をお願いいたします。署名を集めていただくため、ポケットティッシュや投函箱など、さまざまなグッズも用意しています。

注文はTEL078-393-1807/FAX078-393-1820まで。

現在の到達状況

県全体	8,506筆
淡路支部	637筆

(5月18日現在)

減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、

(医科) TEL078-393-1803 (歯科) TEL078-393-1809

兵庫県保険医協会まで

兵庫県保険医協会

第 39 回淡路支部総会

日 時 5月27日(土)15時～総会議事

会 場 洲本市文化体育館2階 2C会議室

15:30～ 記念市民公開講演(参加無料)

テーマ「医療が変わる最新IT:

仮想現実VR・拡張現実AR・複合現実MR」

講 師 杉本 真樹 先生

(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉国際協力学分野 准教授)

TV やインターネットは人に、時間と空間を越えた膨大な情報を与えますが、そのほとんどが視覚と聴覚に限定されています。しかし人には五感をはじめ様々な感覚があり、近年のVR 仮想現実・AR 拡張現実・MR 複合現実などの概念によって体感そのものが、第三者と共有できるようになりました。これらの技術はゲームやエンターテインメントに留まらず、医療健康分野でも大いに注目されています。そのビジネストrendを実例を交え解説します。Oculus Rift や HTC VIVE, SONY PlayStation VR などの HMD 情報端末機器をはじめ、360° 動画撮影可能な全天球カメラによる全周囲実写コンテンツ、スマホ型 AR として位置計測センサー搭載の Lenovo Phab2 Pro やホログラフィーのような体験ができる MR ゴーグルの Microsoft HoloLens など、実際に医療現場や手術で活用されている実例など、わかりやすくご紹介します。

【杉本記】

お問い合わせは、TEL 078-393-1803 協会事務局 山下 まで

兵庫県保険医協会淡路支部第 39 回総会 (5/27) 出欠確認

FAX返信 078-393-1820 山下 宛

- | | |
|--------------|--------------|
| ①総会議事 | (ご出席・都合がつけば) |
| ②講演 | (ご出席・都合がつけば) |
| ③懇親会 ※会員参加無料 | (ご出席・都合がつけば) |

地区 _____ 市 医療機関名 _____

お名前 _____ TEL _____